

寺町（その二）



保善寺にある獅子の像

早稲田通りに面した数々の寺には、有名人や知名の人の墓があり、それを知る事により過去を思いだすのも興味があります。以下にその寺を挙げてみましょう。

- 正見寺 江戸三美人の第一と言われた「笠森お仙」の墓がある。
 - 青原寺 狂歌師として有名な朱楽管公の墓がある。（寛政年間に活躍）
 - 源通寺 河竹黙阿弥（二世 吉村新七）の墓がある。
 - 高德寺 新井白石とその一門の墓がある。都の旧跡指定になっている。
 - 龍興寺 この寺の開祖は柳沢吉保との関係が深く、近親の墓がある。
 - 松源寺 さる寺縁起として「江戸名所図会」にあり、『猿寺』で有名。
 - 宗清寺 横浜の開港や小笠原を日本の領土とした水野忠徳の墓。
 - 保善寺 『獅子寺』の名で有名。武田信玄公家臣の墓が多くある。
 - 天徳院 忠臣蔵で内匠頭を押えた梶川与惣兵衛の墓がある。
 - 龍昌寺 この寺の開祖は、徳川家康の学問の師として優待を受けた。
- 以上、開山以来数百年先祖を守り今日に至りましたが、墓石の下の人々は、「籠」の列ではなく、終日「車」で渋滞する今の「早稲田通り」をどう見ているでしょうか。

氷川神社（その一）

氷川神社の縁起によると、当社は旧中野村の総鎮守社で、創建は長元三年（1030年）源頼信が平忠常を征討した時、武蔵一の宮の氷川神社の神霊を勧請したことから、この地の鎮守社として今日に至りました。社殿は幾度か改築や造営が行われましたが、太平洋戦争で本殿の一部が焼失、現在の社殿は昭和43年、明治維新百年を迎えた記念事業として昭和44年9月に社殿竣工の奉告祭が斎行されています。



現在の氷川神社社殿（東中野一丁目）

祭神は須佐之男尊、稲田姫尊、大国主命をまつり、境内には神楽殿や神輿庫（9棟）があり、四・五丁目の御輿もここに保管されます。

さて、氷川神社と言うと、毎年祭礼を実施しています。

9月15日はその当日に当たります。氷川神社の氏子は現在36の町会や自治会がその傘下にあり、祭礼の当日はそれぞれ町の年中行事の一つとして毎年盛大に行われています。

今年は五年に一度の「本祭り」で、揃いの浴衣もきまり、例年に増して賑やかな御輿や山車の渡行があるでしょう。

